

令和5年度の危機管理監の取り組み方針

危機管理監：向井 宣彦

危機管理監の役割

危機管理監は、大規模な災害、様々な危機事案から市民の生命、身体、財産を守るための準備と対応の役割を担っています。

平素は、市民や事業者、国、県、警察、自衛隊などと連携、協働して防災・減災のための準備をし、災害などが起こったときには、市の対策本部で対応業務にあたります。

令和5年度の重点目標

令和5年度は、市全体の防災力強化のために、実践的で効果のある各種防災訓練や研修を随時実施するとともに、応急給水施設の整備、防災スピーカーの改築などの防災施設の充実に取り組んでいきます。

特に、災害時、高齢者や障害者等の避難行動要支援者が、スムーズに避難できるよう、持続可能な個別避難計画の作成スキームを福祉部局や関係機関と連携してさらに進めていきます。

また、引き続き、地域の状況に応じた地区防災計画の作成を進めるとともに、地域で防災を担う人材の育成を進め、地域防災力の強化にも取り組んでいきます。

市民の皆様へのメッセージ

危機管理（防災・減災）の基本は「想像と準備」です。

想像とは災害時などをどれだけリアルに想像できるか、準備とは想像した事態にどれだけ準備ができているかです。最大の想像力を駆使して、市民の皆様と共に大規模災害などに備えた万全の準備に取り組んでいきます。

